

第6回琴浦町小学校適正規模・配置審議会 会議概要

日時 平成21年1月19日午後2時00分～午後4時00分

場所 まなびタウンとうはく 4階 研修室

教育長挨拶

第6回の琴浦町小学校適正規模・配置審議会に、大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今日は、会長さんのほうから、仮に統廃合した場合の課題等について宿題が出ていたと思いますが、会の進め方として、参加型協議の手法である「KJ法」を取り入れ皆さんの考えを全部出していただいて、その課題別にグループを分けて密度の濃い議論をしていただけたらと考えています。皆さんにお計りし進めたいと思いますのでよろしくお願いします。

会長挨拶

- 本年もよろしくお願いします。先ほどもありましたが、前回において、仮に統廃合した場合の課題意識を持って次回は出席していただきたいとお願ひしていました。本日はそれをもとに進めていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

会の進め方について

- 皆さんが考えてこられた課題等を、それぞれが発表されると、一人、2分でも1時間近くかかってしまいますので、事務局から提案がありましたように課題別に何本かの柱建てをして、その柱に対して皆さんの考えてこられた課題、または解決方法を出してもらい、柱ごとにグループ討議をしていただけたらと思いますが、このような進め方でよろしいでしょうか。
- 最初にグループに分けて、その中で課題を出しながら議論したら。
- そういうやり方もあると思いますが、話し合う内容がグループで重複することも考えられますので、最初に話し合いの柱を決めて、グループ討議したほうが効率的でないかと思います。
- そういうやり方でいいと思いますが、例えば何本かの柱がでてきたものをそれぞれのグループで討議するのか、一つの柱を一つのグループが受け持って討議するんですか。
- 内容によっては、重複する部分もあるかもしれませんが、1グループが一つの柱でより深く討議していただきたいと思います。そうしますと柱を建てる前に事務局から、討議方法の説明をお願いします。
- 参加型協議の手法(KJ法)資料によりルール、進め方の説明、

活動1「問題点の把握と整理」

- ① 考えてきた問題点を各委員から出してもらい、項目を整理する。
- ② 付箋紙に問題点を分かりやすく記入する。
- ③ ②の付箋紙を①で項目立てした台紙に貼っていく。
- ④ グループ分け

活動2「予想される問題点や解決方法，将来の見通しを明確にする」

- ① グループ内で進行係、発表者、記録者を決める。
- ② 台紙に貼られた付箋紙を共通項でくくり、島を作る。
- ③ 問題、解決法、特記事項について、問題解決の視点から意見交換し、要点を台紙に書き込んでいく。

活動3 発表全体会で情報共有と協議

- ① 発表 各班3分以内で、話し合った内容について説明する。
 - ② 全体での質疑や協議
- 今日の作業は活動1，2が中心になると思います、特に活動2の③は、次回以降の作業になると思いますが、そのあとみんなで課題を共有し、さらに深めていくという形をとっていく。まずどんな課題でも出し合ってもらいながら、審議していただけたらと思います。

柱となる課題について

- 例えば通学方法等は大きな柱になると思いますが、そのほか柱になりうる意見をいただけたらと思います。
- 仮に統合した場合のイメージとして、小さな統合もあるでしょうし、校区を一つの小学校とするような大きな統合もありますが、そのあたりはどうですか？
- 現在の小学校の規模及び耐用年数等とも関係してきますが、やはり第1段階、第2段階等考えておく必要があると思いますし、さし当たって10年スパンくらいでの提案が必要ではないかと思えます。
- 通学方法を論じるにしても、どういう統合になるかが分からないと、なかなか議論が出来ないのではないかと。
- どういう統合を論じるよりも、まず考えてきた課題を出し合ってからでも、いいのではないかと。
- 最初から具体的になるとあまり良くないのでは、意見を出し合う中で、どういう統合がいいのか導いていくのがいいのではないかと。今出ている中で、柱として、通学距離・方法、どういう統合が適正規模なのかということになりますし、跡地の問題等があります。
- 人的組織、施設整備、児童と地域との係わりの問題もあります。
- 統合した場合、吸収か対等かで校名等がどうなるかという問題もある。

- 今の小学校施設で、どの位の児童の受け入れが可能か？
- 各小学校の普通教室の数は資料として提示しますが、その中には、特別支援教室として、利用される場合があることもご理解ください。
- 校区の考え方は琴浦町全体で考えるのか、各中学校校区で考えるのか。
- 第1段階としては各中学校校区で、考えていただくということが良いでないかと思います。
- いろいろ課題がでましたが、次の4点に集約したいと思います。
 - 1 人的な組織の問題について
 - 2 跡地利用、施設整備、地域との連携について
 - 3 通学方法、校区区域について
 - 4 適正規模について
- 各委員さんが考えてきていただいた問題を付箋紙に書いて、課題ごとの大きな紙に付箋紙を貼り付けてください。またその後に4班に分けて各班で、どの課題を選ぶか話し合ってください。
- 話し合いの結果
 - 1班 適正規模について
 - 2班 跡地利用、施設整備、地域との連携について
 - 3班 通学方法、校区区域について
 - 4班 人的組織の問題について
- 各班で決まりました課題ごとに話し合っ、その後に本日のまとめを各班で報告してください。

グループ討議

中略



各班まとめ

○ 1班の報告

適正規模ということで話し合いをしたが、いつ時点を想定してということもあり、適正規模といいながらケースバイケースで考えて、何校にするのかということもあるので、次回から横との連携をとりながら、突っ込んだ議論をしていく必要がある。

○ 2班の報告

跡地の利用問題では、一つは、地域のコミュニティ施設としての利用と学校利用、学童保育はどうかという意見が出ていました。地域との連携では、学校が遠くなれば、特に高齢者等が来にくくなるのではとの意見があり、そのあたりも議論していきたい。

○ 3班の報告

通学方法については区域が広がるので、スクールバスとそれにかかわる財政問題、路線バスを利用した場合の親の負担、通学路の安全の確保という意見がありました。校区が広くなれば地域とのかかわりは希薄になっていくという問題、児童の放課後の過ごし方の問題、校区の区切をどうするか、今の校区を生かしたものにするか、自治会等で新たに区切るか、議論していく。

○ 4班の報告

子供の心の問題、PTAの問題、地域とのかかわりの問題、公民館活動とのかかわり等を議論していきたい。

○ 各班で出た問題を、共通の問題意識として、それを次回にはさらに突っ込んだ議論が出来るよう、各人宿題として持ち帰っていただけたらと思います。問題にかかる資料は事務局に請求してください。こういう形で進めていきたいと思いますがいかがでしょうか。

○ 今年度中にあと2回開催したいと思います、そうすると2月、3月で1回づつとなります、事務局の提案をお願いします。

○ 2月の16日の週はどうでしょうか、

○ 次回は2月20日の午後2時から開催したいと思います。

午後4時00分閉会